

■日本教育実践学会第10回研究大会のご案内（第2次）■

日本教育実践学会会長 塩見邦雄
第10回研究大会準備委員長 中野靖夫

日本教育実践学会第10回研究大会の開催まであと1か月足らずとなりました。今大会では、「自由研究」「課題研究」「シンポジウム」を企画しました。研究発表に多数の方から応募をいただきました。ありがとうございます。研究大会には、学会員はもとより、教育実践に関心をおもちの方なら学会員以外でもご参加いただけます。教育の充実発展のために、関係の先生方が多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

主 催 日本教育実践学会

後 援 新潟県教育委員会、上越市教育委員会、上越教育大学

1 期 日 2007年11月10日（土）10:00～2007年11月11日（日）12:00

2 会 場 上越教育大学（〒943-8512 上越市山屋敷町1番地）
人文棟1階及び講義棟2階講義室

3 研究大会日程

11月10日（土）（第1日）

時間	企画概要（場所）				
9:30～	受付（1階人文棟入口）				
10:00～11:40	自由研究発表Ⅰ <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>A会場（人文棟1階104）</td></tr> <tr><td>B会場（人文棟1階105）</td></tr> <tr><td>C会場（人文棟1階106）</td></tr> <tr><td>D会場（人文棟1階107）</td></tr> </table> 編集委員会（人文棟2階201:10:30～11:40）	A会場（人文棟1階104）	B会場（人文棟1階105）	C会場（人文棟1階106）	D会場（人文棟1階107）
A会場（人文棟1階104）					
B会場（人文棟1階105）					
C会場（人文棟1階106）					
D会場（人文棟1階107）					
11:40～12:55	昼食 理事会（人文棟2階201:11:40～12:40）				
12:55～13:40	総会 S会場（講義棟2階201）				
13:40～15:20	自由研究発表Ⅱ <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>A会場（人文棟1階104）</td></tr> <tr><td>B会場（人文棟1階105）</td></tr> <tr><td>C会場（人文棟1階106）</td></tr> </table> 課題研究発表（D会場（人文棟1階107））	A会場（人文棟1階104）	B会場（人文棟1階105）	C会場（人文棟1階106）	
A会場（人文棟1階104）					
B会場（人文棟1階105）					
C会場（人文棟1階106）					
15:30～17:00	シンポジウム S会場（講義棟2階201） テーマ：学校現場と大学における授業研究の接点を探る 司会：増井三夫 話題提供：栗岡秀明（上越市立大手町小学校教頭） 佐藤真市（柏崎市立剣野小学校校長） 布川和彦（上越教育大学）				
17:30～19:00	懇親会				

11月11日（日）（第2日）

時間	企画概要（場所）
----	----------

9:30～	受付（1階人文棟入口）
10:00～12:00	自由研究発表Ⅲ （ A会場（人文棟1階104） B会場（人文棟1階105） C会場（人文棟1階106） D会場（人文棟1階107） ）

4 連絡

（1）大会受付

2007年11月10日（土）9:30より受付を開始いたします。「研究大会論文集」等をお受け取り下さい。なお、当日参加を申し込まれる方は、受付で参加申し込みを行った上で、参加費と懇親会費（出席される場合）をお支払いください。10月22日（月）以降に参加費を振り込まれた方は、受付の際に払込受領書（コピー可）をご提示下さい。

① 参加費（論文1冊を含む）	正会員・一般（当日臨時会員）	4,000円
	学生会員	3,000円
② 懇親会費		3,000円
③ 郵便振込用紙（同封の振込用紙をお使いください）		
	加入者名： 日本教育実践学会第10回研究大会実行委員会	
	口座番号： 00550-2-045458	

（2）研究発表者の方へご案内（自由研究・課題研究）

- ・「自由研究発表」及び「課題研究発表」の時間は、1件20分（発表15分、質疑応答5分）です。発表者は、時間を厳守してください。
- ・課題研究発表セッションでは、発表後に全体討議を20分間行います。
- ・発表者は、ひとつ前の発表になりましたら準備してください。
- ・発表用機器としては、OHP、パソコン、プロジェクターを用意します。パワーポイントで発表される方は、データをUSBフラッシュメモリ等に保存してお持ちください。
- ・補足資料のある方は、予めご用意のうえ、発表前に会場入り口の机の上に置いてください。
- ・発表取り消し及び欠席者が出た場合、発表時間、発表順位の繰上げは行わず、質疑・討論等に当てます。

（3）座長へのお願い

- ① セッションごとに2人に座長をお願いしています。当日2人でご相談の上、進行をお願いします。
- ② 各会場には、時計、鈴を担当する会場運営係が補助としてつきます。
- ③ 発表時間を見計らって会場を移動する会員がおられます。できるだけ予定の時間で進行するようにお願いします。
- ④ 発表者の欠席、変更等がありましたら、大会本部へお知らせください。

（4）その他

- ・休憩所には湯茶を用意いたしますので、ご自由にご利用ください。
- ・喫煙は決められた喫煙場所以外で行わないようお願いします。
- ・土・日曜は大学までのバスの本数が少ないので、バスの時間を確認し、十分に時間をとって早めに

おいでください。

- ・ 駐車場は、正門から入り右手にございます。
- ・ ご不明な点がございましたら、大会事務局にお尋ね下さい。

(5) 大会事務局

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地 上越教育大学

日本教育実践学会第10回研究大会事務局

実行委員長 中野 靖夫 TEL&FAX:025-521-3572 E-mail:nakano@juen.ac.jp

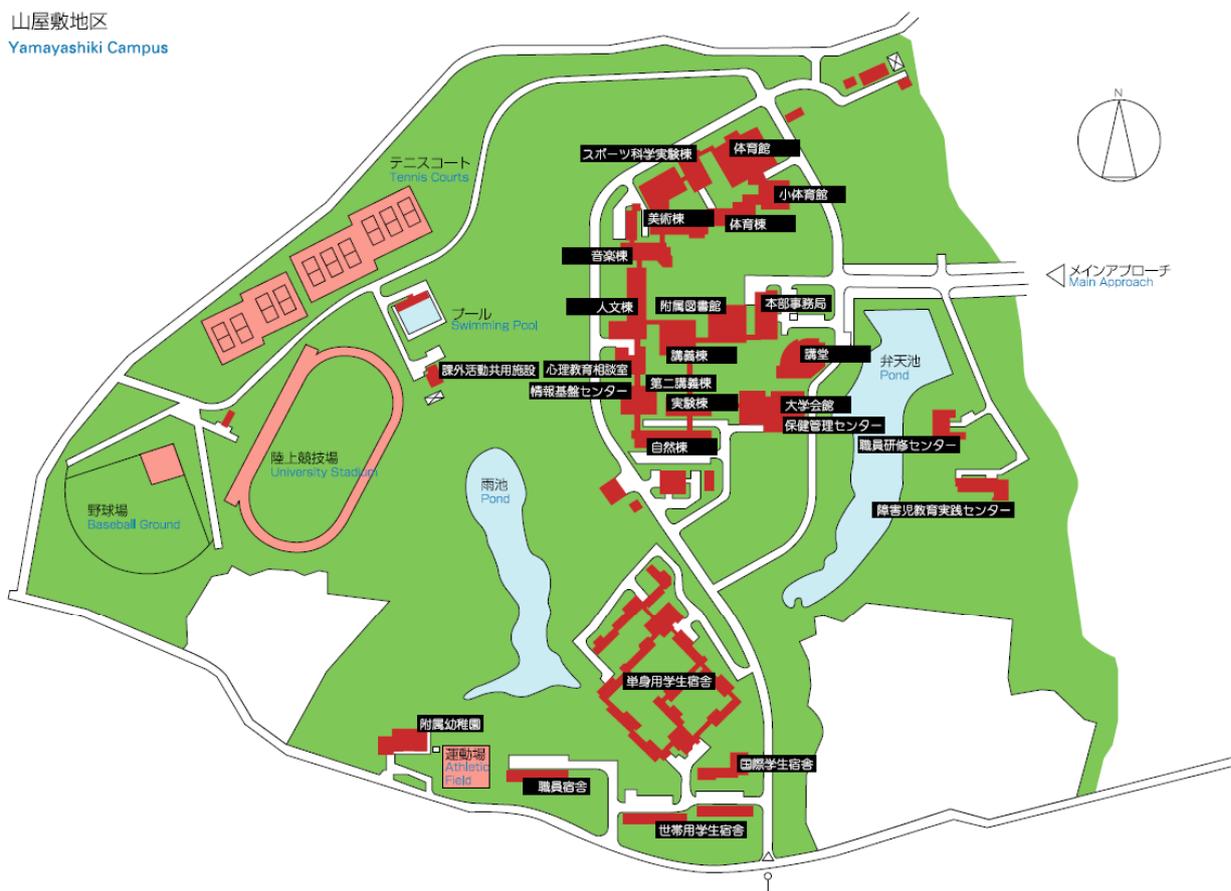
事務局長 増井 三夫 TEL&FAX:025-521-3369 E-mail:masui@juen.ac.jp

事務局 井上 久祥 TEL&FAX:025-525-6926 E-mail:inoue@juen.ac.jp

久保田 善彦 TEL&FAX:025-521-3440 E-mail:kubota@juen.ac.jp

■■上越教育大学建物配置図■■

山屋敷地区
Yamayashiki Campus



大会プログラム

11月10日(土) 10:00 ~ 11:40

A会場 人文棟1階 104

<自由研究 I >

時間	発表者	所属	発表題目
10:00~	服部 英雄	兵庫教育大学附属小学校	小学校4年生を対象にした古典教材『枕草子』の授業研究ー古典教材を楽しくイメージ豊かに読む学習を創るー
10:20~	藤代 昇丈 宮地 功	岡山県総合教育センター 岡山理科大学総合情報学部	中学校英語科における WBT ブレンディッド型発話演習とその効果
10:40~	大平 正芳 西川 純	上越教育大学大学院 上越教育大学	『学び合い』における児童の活動状態の変容過程に関する研究
11:00~	岩崎 太樹 西川 純	上越教育大学 上越教育大学	教師の『学び合い』への不安に対する学習者の捉え
11:20~	中田 秀樹 増井 三夫	上越教育大学大学院 上越教育大学	授業における教師ー生徒間の信頼関係の構造ーK中学校3年生を事例としてー
11:40~	東郷 多津 望月 紫帆 高橋 朋子 中植 正剛 山崎 瞳	京都ノートルダム女子大学 NPO 法人学習開発研究所 武庫川女子大学 神戸親和女子大学 環太平洋大学	英語を学習する意味が見いだせない学習者のための自律学習の開発(3)ー学生の学習課程からー

B会場 人文棟1階 105

<自由研究 I >

時間	発表者	所属	発表題目
10:00~	伊藤 綾音 久保田善彦	上越教育大学大学院 上越教育大学	教育実習生の教職イメージの変容とその要因となる気づきに関する研究ー比喻表現調査と気づきのインタビュー調査を併用してー
10:20~	坂野 智之 西川 純	上越教育大学大学院 上越教育大学	教師同士の『学び合い』に関する研究
10:40~	中山 一樹 角田 将士 小原 豊	立命館大学産業社会学部 立命館大学産業社会学部 立命館大学産業社会学部	小学校教員養成における子ども社会学の意義に関する考察ー立命館メソッドの開発に向けてー
11:00~	石上 靖芳 益川 弘如 村山 功 原田 唯司	静岡大学教育学部附属教育実践総合センター 静岡大学教育学部 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター 静岡大学教育学部	スクールリーダーを養成するための大学院カリキュラムの開発についてー理論と実践の住還型カリキュラムを基盤に据えてー
11:20~	齋藤 昇 秋田 美代	鳴門教育大学 鳴門教育大学	開発途上国の数学科教員の授業実践力向上に関する研究ーラオス教員養成学校教員を対象としてー
11:40~	秋田 美代 齋藤 昇	鳴門教育大学 鳴門教育大学	開発途上国の数学科教員の学習指導案作成能力の向上に関する研究ーラオス教員養成学校教員を対象としてー

C会場 人文棟1階 106

<自由研究 I >

時 間	発表者	所 属	発 表 題 目
10:00～	一ノ瀬辰徳 増井 三夫	上越教育大学大学院 上越教育大学	授業における子ども同士の共生的関係の現れとその機能
10:20～	山下真智子	大手前大学	大学生の初年次教育における授業開発と実践報告－多様な学生に向けた心理教育的援助からのアプローチ
10:40～	黒田 恭史 岡本 尚子	佛教大学教育学部 大阪大学大学院人間科学研究科	同一問題における解答場面と説明場面の差異をもたらす脳生理学的特徴
11:00～	高野 喜守 井上 久祥	上越教育大学大学院 上越教育大学	情報社会における問題行動予防のための生徒理解ツールの開発
11:20～	福留 明子 西川 純	上越教育大学大学院 上越教育大学	相互関係における「自己コントロールの力」を育む生活科の実践的研究－『学び合い』による教科書づくりの活動を通して－

D会場 人文棟1階 107

<自由研究 I >

時 間	発表者	所 属	発 表 題 目
10:00～	大山 努 佐藤 和紀 南部 昌敏	上越教育大学大学院 東京都小平市立小平第五小学校 上越教育大学	小学校高学年を対象としたメディア表現能力及びメディアコミュニケーション能力育成プログラムの開発と評価(1)
10:20～	殿柿 弘行 井上 久祥	上越教育大学大学院 上越教育大学	情報社会の変質を批判的に思考する学習プログラムの開発
10:40～	後藤 康志	新潟医療福祉大学	Web 情報に対する批判的思考の学年間比較
11:00～	川島 範章 塩見 邦雄	滋賀県立安曇川高等学校 相愛大学	高校生の批判的思考態度と読解力の関係
11:20～	片岡 久明	南九州短期大学	情報セキュリティ教育の実践と評価
11:40～	廣瀬 隆司	鳴門教育大学	「速さ」における現物実験と数量的な記述表現の明確化－「出会う場面」と「追いつく場面」に焦点を当てて－

11月10日(土) 13:40 ~ 15:20

A会場 人文棟1階 104

<自由研究II>

時間	発表者	所属	発表題目
13:40~	水越 千博 久保田善彦	上越教育大学大学院 上越教育大学	社会人講師を活用した効果的な理科授業に関する研究ーキャリア教育の視点からの実践を通してー
14:00~	包格日楽吐	兵庫教育大学連合大学院 学校教育学研究科	子どものものづくり行為とイメージの展開に関する研究ー内モンゴルの美術教科書の考察と地域の材料をもとに行った実践授業を通してー
14:20~	吉川 暢子	兵庫教育大学大学院連合 学校教育学研究科	親とのかかわりの中で育つ子どもの表現に関する研究
14:40~	平林 邦章 西川 純	上越教育大学大学院 上越教育大学	小学校社会科における”言葉”の問題に関する研究
15:00~	Fatimah AWANG 秋田 美代	鳴門教育大学大学院 鳴門教育大学	A Comparative Study of the Teachers' Perspective at Mathematics Education: In Case of Using Teaching Materials in Mathematics Lesson between Malaysia and Japan.

B会場 人文棟1階 105

<自由研究II>

時間	発表者	所属	発表題目
13:40~	寺谷愉利子 望月 紫帆 東郷 多津	佛教大学大学院 NPO 法人学習開発研究所 京都ノートルダム女子大学	看護大学における協調自律学習の可能性
14:00~	西之園晴夫 望月 紫帆	佛教大学 NPO 法人学習開発研究所	現職教員を含む修士課程でのキャンパス学習と遠隔学習の融合
14:20~	近藤 勲	元・岡山大学	ピュアeラーニングによる大学設置計画の課題ーK大学の設置計画はなぜ挫折したか?ー
14:40~	櫻井 佑樹 生田 孝至	新潟大学大学院 新潟大学	e-Learning を利用した授業リフレクションでの教育実習の反省
15:00~	神月 紀輔 宮田 仁	滋賀大学 滋賀大学	LMS による相互評価を取り入れた大学授業の実践

C会場 人文棟1階 106

<自由研究Ⅱ>

時間	発表者	所属	発表題目
13:40～	望月 紫帆 西之園晴夫	特定非営利活動法人学習 開発研究所 佛教大学	中規模クラスでの協調自律学習の実施に ついての研究
14:00～	三上 光一 永野 昌博 村山千香子 山本 徳司	十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キ ョロロ 長岡技術科学大学 十日町市立浦田小学校 独立行政法人 農業・食品 産業技術総合研究機構 農村工学研究所	オープンソース Web-GIS を利用した地域 学習プログラム
14:20～	平澤林太郎 久保田善彦 鈴木 栄幸 舟生日出男 加藤 浩	上越教育大学大学院 上越教育大学 茨城大学 広島大学 メディア教育開発センタ ー	同期型 CSCL を利用した遠隔学習における 他者認識に関する研究：「自己伝達に関す る他者認識」の分析を中心に
14:40～	藤塚 邦男 南部 昌敏	上越教育大学大学院 上越教育大学	高等学校におけるケータイのメール機能 を活用した学習支援のころみ（2）

11月11日（日） 10：00 ～ 12：00

A会場 人文棟1階 104

<自由研究Ⅲ>

時間	発表者	所属	発表題目
10:00～	松井 祥子 西川 純	上越教育大学 上越教育大学	授業時間外における『学び合い』の広がり ー給食・清掃の時間に着目してー
10:20～	藤本 侑香 永田 智子	兵庫教育大学大学院 兵庫教育大学大学院	小学生に対する「正しい生活習慣」の指導 内容
10:40～	橋爪 優子 増井 三夫	上越教育大学大学院 上越教育大学	生活科における子ども間のズレの意識化 と受容的対応
11:00～	富井 和美	兵庫教育大学大学院	小学4年生における乳児との交流学習の 効果ー対児行動を視点としてー
	松村 京子	兵庫教育大学大学院	
	服部 英雄	兵庫教育大学附属小学校	
	柴田 順次	兵庫教育大学附属小学校	
11:20～	大谷 信也	兵庫教育大学附属小学校	
11:20～	坂本 將暢	名古屋大学大学院	子どもの発言にもとづく授業分析ー中間 項と発話のリズム分析を用いた解釈ー
11:40～	増田 富 石上 靖芳	静岡市立長田南中学校 静岡大学教育学部附属教 育実践総合センター	PISA型「読解力」に基づいた文学作品 の教材化に関する実践研究ーカリキュラ ムマネジメント能力の向上を視点として ー

B会場 人文棟1階 105

<自由研究Ⅲ>

時間	発表者	所属	発表題目
10:00～	村山 尚士 久保田善彦	上越市立春日小学校 上越教育大学	「振り子」の学習理解に関する研究―「周期」と「おもりの動きの速さ」の認識―
10:20～	高 賢一	金沢星稜大学	不登校親の会における不登校経験者の体験談
10:40～	村田 勝夫 西條 典子	鳴門教育大学 徳島市川内中学校	「地球温暖化」と「オゾン層の破壊」の環境教育を実践してみて
11:00～	永野 昌博 澤畠 拓夫 三上 光一 中平 勝子	十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 長岡技術科学大学	センサーカメラを使った博学連携哺乳類調査の実践
11:20～	清水 良紀 久保田善彦	上越教育大学大学院 上越教育大学	実験班に対する教師の足場かけに関する研究
11:40～	石上 靖芳	静岡大学教育学部附属教育実践総合センター	実践的指導力の育成を図る教員養成カリキュラムの検討とその評価―授業設計能力の育成に着目して

C会場 人文棟1階 106

<自由研究Ⅲ>

時間	発表者	所属	発表題目
10:00～	大杉 成喜 中野 靖夫	滋賀大学教育学部附属特別支援学校 上越教育大学	米国の個別教育計画におけるアシスティブ・テクノロジー採択の方法と課題
10:20～	安田ひとみ 井上 久祥	上越教育大学 上越教育大学	日常的な情報交換を促す働きかけによる教師の変容に関する事例研究―少人数での学びあいのコンピテンシーを高める働きかけを通して―
10:40～	丸山 裕輔	新潟大学大学院現代社会文化研究科	ICT 活用指導力の向上を目指した教員研修に関する事例研究
11:00～	柴田 好章	名古屋大学	協同的問題解決としての校内授業研究のあり方―東海市と名古屋大学の連携にもとづいて―
11:20～	高橋 健	新発田市立外ヶ輪小学校	校内におけるアクションリサーチに関する事例研究―初任教师と共に―
11:40～	小山 裕敦	新潟大学大学院教育学研究科	授業観察をもとにした授業リフレクションプログラム―体育における授業参観の経験を振り返ることによる観察能力の質的変容―

D会場 人文棟1階 107

<自由研究Ⅲ>

時 間	発表者	所 属	発 表 題 目
10:00～	橋下 杏子 西川 純	上越教育大学 上越教育大学	子どもたちの相互作用を生かした道徳学習に関する研究
10:20～	堀本 高志 井上 久祥	上越教育大学 上越教育大学	社会的な役割取得によるインターネット活用モラル向上のための学習プログラム開発
10:40～	新橋 那美 井上 久祥	上越教育大学 上越教育大学	教科「情報」における個別学習支援のためのコミュニケーションシート「通知表」を用いた教師の働きかけ
11:00～	小原 豊	立命館大学産業社会学部	熟練教師による指導法と関心・意欲・態度の評価法の一体化について
11:20～	藤井 瞳 西川 純	上越教育大学 上越教育大学	『学び合い』の授業における学習者が感じる教師の必要感
11:40～	小崎 桃子 西川 純	上越教育大学 上越教育大学	子どもの学習成果に応じた教師の働きかけに関する研究